

鍛圧機械 全会員受注グラフ (月次業況調査)

一般社団法人 日本鍛圧機械工業会

2022年4月8日

2022年3月度 鍛圧機械 全会員受注動向 月次業況調査コメント

- 概況 受注総合計は328.7億円と、前年同月比で5.8%増となり、2021年年初から引き続き15ヶ月連続プラスとなった。板金系の国内が引き続き好調であった。一方、全世界的には、コロナ禍を起因とした一部部品の品薄や物流関係の混乱という問題に加えて、ウクライナ侵攻による世界経済への影響が懸念される。
- 機種別 プレス系機械は100.9億円と、前年同月比で12.4%減となり、中型プレスは66.9%増であったが、小型プレス、大型・超大型プレス、油圧プレス、フォーミングと軒並みマイナスとなった。板金系機械は135.2億円と、前年同月比32.7%増となった。パンチングが54.8%増、プレスブレーキ11.9%増、レーザ・プラスマも35.0%増であった。
- 内外別 国内は162.2億円、前年同月比12.5%増で、金属13.1%増、一般機械52.1%増で、自動車も14.0%増、電気も6.8%増で、鉄鋼、その他はマイナスとなった。(機種計) 輸出は73.8億円、前年同月比1.2%増となり、北米向67.3%増、欧州向73.5%増となったが、中国向、韓国・台湾向、東南アジア向はマイナスとなった。

鍛圧機械 全会員受注動向 月次業況調査 推移グラフ



